

平成26年度 保田小学校グランドデザイン

【教育目標】 学びをつなぎ 心ゆたかに生きる

【学年・学級経営】 子どもが主役の教育活動

- ・目指す子どもの姿を明確に示し、日々の指導に関連づけた教育実践
- ・子どもが「自分の力でやった、できた」という満足感や感動体験の実践
- ・子どもに耳・目・心を傾け、ともに活動し感動する教師

【知】

【徳】

【体】

主体的に学習に取り組む子

相手のことを考えて協力できる子

体を大切にし 運動を続ける子

【重点目標】

NRT標準偏差値53以上

おはよう、ありがとうの言える子

自分で朝起きれる子

確かな学力を身につけさせる教育の推進

思いやり・感謝の心を育てる教育の推進

健康や体力の向上を図る教育の推進

- 1 計画的な指導に基づいたWebテストの実施(1,2年は学年テスト)
- 2 「わかった。できた」を実感できる授業のユニバーサルデザイン化の推進
- 3 地域の人・もの・ことを活用した学習活動を年間1回以上実施
- 4 家庭学習の推進

- 1 生活目標の継続的な指導による年2回のあいさつ運動の実施
- 2 好ましい人間関係を築く、ほたる班活動の毎月実施
- 3 よいところ探しの活動をほたる班や学級で週1回以上実施
- 4 子どもと向き合う教育相談を年2回実施

- 1 体力面の課題克服を考えた準備運動や授業を通じた運動能力向上の実践
- 2 健康な生活リズムの形成に「早寝・早起き」「自分で起きられる」運動を年3回実施するとともに、その大切さを認知させる授業を年3回実施

【成果目標】

- 1 ①WEBテスト、単元テスト等の間違い直しを実施100%  
②Web問題への計画的取組 県平均を10回以上上回る学級 A：8学級以上 B：7～4
- 2 ①国語の説明的文章の単元テストで、全国平均を上回る児童70%以上にする  
②ユニバーサルデザインに基づく公開授業を各学級で年1回以上実施する
- 3 地域の人、もの、ことに関心を持ち、自ら課題を決めて調べることができる児童を80%以上にする
- 4 学年×10分以上の家庭学習をする児童を80%以上にする

- 1 ①「進んであいさつができた子」の自己評価のA評価が70%以上 (B：60～69)  
②「家庭であいさつをしている」と保護者が評価するA評価が70%以上 (B：60～69)
- 2 「手助け等をしてもらったときなどに温かいメッセージを伝えることができた」の自己評価のA評価が55%以上 (B：50～54)
- 3 「学級やほたる班などで友達と協力して活動できた」の自己評価のA評価が55%以上 (B：50～54)
- 4 いじめや新たな不登校を出さない  
A：いじめ、不登校0  
B：いじめ、不登校1～2  
C：いじめ、不登校3以上

- 1 長座体前屈の記録が前の学期(1学期は、前年度との比較)より向上した児童が65%以上 (B：64～50)
- 2 「早寝・早起きチェック」活動の期間(5日間)中、チェックカードの早寝・早起きのめあてを3日間達成できた児童が80%以上、かつ「自分で起きられる」めあてを3日間達成できた児童が65%以上  
A：「早寝・早起き」ができる80%以上、かつ「自分で起きられる」65%以上  
B：どちらかが達成  
C：至らない

【保護者・地域との連携】

- ・保護者、評議員、地域との連携(謙虚に誠意をもって対応)
- ・地域教材の開発と実践(計画、実践、評価)
- ・保・幼・中との積極的連携

【特別支援教育の充実】

- ・交流学級での授業の推進
- ・個別の支援計画に基づく指導
- ・全校体制による個のニーズに応じたきめ細やかな支援

【安全対策の推進】

- ・学校安全ボランティアとの連携
- ・登下校の安全管理と事故防止の指導(交通安全教室、街頭指導不審者対応避難訓練の実施)